()様 担当看護師: NO1

(<i>)</i> 惊			土冶区:	担ヨ有護剛: NOI
月日	/	/		/	/
経過		手術前日	手術	当日	手術後
在迴	人阮ヨロ 	→ 1N	手術前	手術後	1日目
	・現在飲んでいるお薬を入院期間分(最大28日分)お持ちください ・入院前から飲んでいる薬の内容を確認 後、お返ししますので、手術まではご自分 で管理してください (必要時、看護師よりお配りします)		・麻酔科から指示があれば、今まで飲んでいた薬の一部 を6~7時頃に飲んでもらうことがあります ・点滴が始まります ※午前の手術:手術室で 午後の手術:10~11時頃に	 ・点滴は翌日まで続きます ・痛み止めの点滴が入っています ・抗生物質の点滴をします ・飲み薬は手術を受けた日は飲みません(手術前から睡眠薬を飲まれていた方は、基本的には手術当日飲むことができません、ただし、医師確認後内服できる場合もあります) 	
検査処置	・ネームバンドをつけさせていただきます・身長と体重などを計ります・血液検査をします・胸・膝関節のエックス線検査をします (検査のない方もいます)	弾性ストッキングのサイズを測ります	 浣腸をします 午前の手術:6~7時 午後の手術:10時頃 ・手術着に着替えます 	 ・心電図モニターをつけます ・酸素マスクを3時間使用し、異常がなければはずします ・血栓予防のため、弾性ストッキングを履き、ふくらはぎにポンプをつけ、マッサージをします ・ご自分でも足首・足の指をよく動かしてください ・傷口は機械で冷やします 	 ・朝に心電図モニターを外します ・車椅子に移れたら、血栓予防のポンプを外します ・膝を曲げる機械で運動します ・1日1回30分、最大120度まで角度を上げていき、100度以上が4日間できれば終了します ・血液検査をします ・傷口はアイスノンで冷やします
観察	・体温・脈拍・血圧などを測ります			・体温・脈拍・血圧などを測ります	・体温・脈拍・血圧などを測ります
活動安静	・病棟内でお過ごしください		お部屋でお過ごしください	・寝返りをする際は看護師がお手伝いをします ・あおむけでベッド上安静です	・車椅子か、可能なら歩行器での歩行ができます・リハビリが始まります(土日はありません)
食事	・制限はありません(食事療法が必要な方は治療食がでます)	飲んだり、食べたりが制限される時間については、別紙で説明します	・制限された時間以降は、絶対に飲んだり食べたりしないで下さい	 ・手術後3時間したら、看護師がお腹の音を聞きます ・動いていれば、水分を摂ることができます ・水分を摂ってから、30分後に食事が食べられます ※手術時間によっては、病院食が用意出来ない場合があります ※その場合は、自己にて補食をご準備下さい 	ベッドで食事をします
清潔	・入浴(シャワー)ができます	・シャワーをして下さい・髭剃りをして下さい・爪切りをしてください	・歯磨き・洗面をして下さい	・ベッドの上でうがいと洗面をします	・お体を拭きます ・尿の管が入っている場合は、挿入部を毎日洗い ます
排泄	・制限はありません		・手術室に行く前にトイレをすませてください	・尿は管で管理されています・便はベッドの上で行います	・可能なら、尿の管を抜きます ・車椅子か歩行器でトイレに行きます
説明	・医師から説明を受け了承されましたら、 同意書・入院診療計画書を署名し医師ま たは看護師にお渡しください ・医師からの説明時はご家族も同席してく ださい ・同席出来ない場合は、医師又は看護師 にご相談ください	手術室の看護師の訪問があります (訪問がないこともあります)麻酔科の訪問があります (訪問がないこともあります)	・入れ歯や湿布、指輪・ピアス、ミサンガなどの装飾品は、 外しておいて下さい	・痛みや吐き気に応じて薬を使用しますので、ナースコー ルでお知らせください	 ・車椅子や歩行器の移動は、使用に慣れるまで 看護師が見守りのもと行います ・手術後、体調が落ち着くまで、飲み薬はその都度、看護師がお渡しします ・脱水・膀胱炎にならないようにできるだけ水分を摂るようにしてください
その他	【手術前日までに準備していただく物品】 □バスタオル・フェイスタオル(各3枚ずつ口お薬ケース □裾の広い半ズボン(2) 【入院中あると便利な物】 □靴べら □マ	着)	・ご家族様は手術時間の30分前に来ていただき、手術中は病棟で待機してください ・病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください ・離れている間は携帯電話がつながるようにしてください	・手術後、手術結果について医師よりご家族様に説明が あります	
			<u>l</u>	<u> </u>	

★病状によっては予定が変更されることがあります

イラストは医療者用CDロング集から転載

大阪市立総合医療センター 整形外科

2011年 9月作成 2025年 6月改訂

(13007-C)

主治医:

)様

★病状によっては予定が変更されることがあります

NO2

2011年 9月作成

2025年 6月改訂

担当看護師:

大阪市立総合医療センター 整形外科

(13007-C)

月日 手術後 経過 8日目 9日目 11日目 | 12日目 | 13日目 2日目 4日目 5日目 6日目 7日目 10日目 14日目 15日目 16日目~退院 3日目 点滴の針をぬきます ・痛みが続いていたら、続けて痛み止めを処方 ・痛み止めと胃薬と貧血予防 ・痛み止めと胃薬と貧血予防の飲み薬を飲みます 注射 **ってもらうこともできます** の薬を飲みます ・血栓予防の注射があります(ない方もいます) (退院日) ・血栓予防の注射が始まりま ・退院薬をお渡しします |す(ない方もいます) 医師により、 傷口のテープ ・弾性ストッキングをはいています ・医師により傷口のフィ をはがします ・傷口はアイスノンで冷やします (トイレまで一人で歩行できるようになり、医師の許可があれば脱ぐことができます) ルムをはがします ・血液検査をします 血液検査をします ・膝を曲げる機械で運動します (退院日) 処置 (1日1回30分、最大120度まで角度を上げていき、100度以上が4日間できれば終了します) ・膝関節のエックス線 ・ネームバンドをはずします ・傷口はアイスノンで冷やします ・術後4日目・7日目血液検査をします |検査をします 観察 ・体温・脈拍・血圧などを測ります ・車椅子か、可能なら歩行器│・車椅子か、可能なら歩行器での歩行ができます での歩行ができます ・看護師が動作を確認し、安定していると判断すれば、自分で車椅子に乗った ・リハビリの進行具合で、歩行器・杖を使用し、歩行します リハビリがあります(土日はありません) |・リハビリがあります(土日は|り、歩行器で歩行することができます ありません) ・リハビリがあります(土日はありません) ・床頭台の引き出すテーブルを使用し、部屋でお食べ下さい (退院日) 食事 ベッドで食事をします ・順番に食事を配ります ・朝食まで食事がでます <退院後の注意点> ・医師の許可が出れば、 ・髪の毛を洗いま|・お体を拭きま ・定期受診は必ず受けるようにして下さい ・看護師により、自分でできると判断されたら、1人でシャワーができます 看護師見守りのもとシャ 清潔 ・歩行時は杖を使用し、転ばないように注意し ワーができます て下さい ・適度な運動を行い、体重の増加には気をつ ・弾性ストッキングを履いている間は皮膚の状態を観察するため、ストッキング内を毎日拭きます けてください ・風邪や虫歯などに注意し、感染予防のため ・可能なら、尿の管を抜きます こ手洗い・うがいを行ってください 排泄 ・歩行器でトイレに行きます ・歩行器か杖でトイレに行きます ・歩行器か車椅子でトイレに行きます |症状が疑われた場合は早めの受診をお勧め ・退院後1ヶ月はシャワー浴です 〈次回外来診察時に主治医に確認していただ ・車椅子や歩行器の使用に慣れるまで、看護師の見守りのもと行います ・傷口のフィルムをはがした後、 ・歩行器や杖の移動は、使用に慣れるまで看護師の見守 ・手術後、体調が落ち着くまで、飲み楽はその都度、看護帥かお渡しします ンヤリー浴を行う除は、傷口をこす |りのもと行います ・車の運転開始時期 ・脱水・膀胱炎にならないように、できるだけ水分をよく摂るようにしてください らず優しく洗うようにして下さい ·自転車の乗車時期 •仕事復帰時期 ・入院費用の精算ができましたらお知らせしま その他 ・看護師から退院の説明を受けた後、1階で手 続きを行ってください

イラストは医療者用CDロング集から転載